

## 別府市産タヌキ, *Myctereutes procyonoides* に寄生していた *Mesocestoides paucitesticulus* について

久 木 義 一

別府市南的ヶ浜 2-27

(昭和48年9月5日 受領)

1973年4月7日, 別府市の山間部にて病死していたタヌキ, *Nyctereutes procyonoides* を解剖し, その小腸から3隻の *Diphyllobothrium erinacei* と多数の *Mesocestoides* 属条虫を採取した. 虫体わ圧扁, 固定, 染色標本を作り, 虫卵わ生の最終片節の副子宮より取り出して内外の検査をした結果, 四国産タヌキ, より得た *Mesocestoides paucitesticulus* Sawada et Kugi, 1972 と一致することが判明した. 此の結果大分県にも本条虫の分布が認められ, 日本における第2の寄生例として報告する.

### 材料および検査

採取した *Mesocestoides* 属条虫は頭節の完全なものか12隻あり, その内の4隻を圧扁し, アルコール固定, ハイデンハイン鉄ヘマトキシリンにて染色し標本を作成した.

### 虫体の形態

虫体の全長 120~350mm, 最大幅 0.8~1.0mm で, 片節の総数は 450~748 であつた. 頭節は, 0.2~0.38×0.11~0.17mm, 厚さ 0.06~0.09mm, 頸部は非常に細長で, 長さが 10~15mm, 横径は 0.05~0.09mm. 未成熟片節では幅が 0.45~0.6mm, 長さが 0.15~0.27mm を有し, 幅は長さの約3倍である. 成熟片節では幅が 0.8~1.0mm, 長さは 0.65~0.7mm で, 幅の方が長さより大きい. 辜丸は 0.0425×0.0325~0.04mm で 38~40個が排泄管の内外に分布し, 外側の方が内側の方より少ない. 陰茎囊は 0.09~0.1×0.13mm で片節の中央よりやや前方に位置する. 子宮は棍棒状で 0.085×0.32~0.5mm, 2個の卵巣はほぼ球形をなし, 0.1×0.12mm でその間隔は 0.04mm である. 卵黄腺は卵円形で 0.07~0.04mm の大きさを有し, 卵巣の前面に位置して

いる. 受胎片節は 0.75mm の幅と 1.16mm の長さで, 長さの方が幅より長くなり, 辜丸, 卵巣および卵黄腺は完全に消失し, 子宮は膨大し 0.25×0.74mm, その後方に副子宮器官が出現し, 0.22×0.36mm である. また子宮内に未熟虫卵が現われる. 末端片節は 0.68mm の幅と, 1.27mm の長さを有し, 長さが幅の約2倍になっている. 子宮は小さくなるが, 副子宮器官は大きさを増し, 卵円形となり 0.27×0.4mm で, 内部に成熟虫卵を入れている. 虫卵は生の副子宮器官から採取したものを計測した結果 0.03~0.037×0.035~0.045mm の大きさで, 半透明の膜によつて包まれている. 円形ないし卵円形を呈し, 胚鉤の長さは 0.015~0.0175mm である.

### 考察ならびに結語

1973年4月7日, 別府市産のタヌキから得た *Mesocestoides* 属条虫について各部の形態ならびに計測値を既知種のそれらと比較したところ, 先きに著者らにより新種として発表された *Mesocestoides paucitesticulus* と一致し, かつ宿主も日本タヌキであることから同種と同定した. これにより同条虫は大分県にも分布していることが判明した.

稿を終るに当り御校閲を賜つた奈良教育大学生物学教室沢田勇教授に深く感謝致します.

### 参考文献

- 1) Chandler, A. C. (1942): *Mesocestoides manteri* n. sp. from a lynx, with notes on other North American species of *Mesocestoides*. J. Parasitology, 28, 227-231.
- 2) Chaandler, A. C. (1944): A new species of *Mesocestoides*, *M. kirbyi*, from *Canis latrans*. J. Parasitology, 30, 273.
- 3) Giordia, H. (1955): *Mesocestoides jonesi* n. sp. from the gray fox, with descriptions of the

- chromosome complement and a dicephalic specimen. J. Tennessee. Acad. Sc., 30, 57-63.
- 4) 熊田信夫・水野さほ子・加藤義昭・水野孝彦・大矢博・鈴木孝・服部孝至(1972) : *Mesocestoides lineatus* の人体寄生例, 日本における第8症例について. 寄生虫学雑誌, 21, 336-345.
- 5) Mueller, J. F. (1927) : Two new species of the cestode genus *Mesocestoides*. Trans. Am. Micr. Soc., 46, 294.
- 6) Muller, J. F. (1928) : The genus *Mesocestoides* in mammalia. Zool. Jahrb. Syst. Okol., 55, 403-418.
- 7) Mueller, J. F. (1930) : Cestodes of the genus *Mesocestoides* from the opossum and the cat. Am. Midl. Nat., 12, 81-90.
- 8) Sawada, I. Kugi, G. (1972) : A new cestode, *Mesocestoides paucitesticulus*, from a Badger, *Nyctereutes procyonoides*, in Japan. Jap. J. Parasit., 22, 45-47, 1973.
- 9) Voge, M. (1959) : North American cestodes of the genus *Mesocestoides*. Uni. Calif. Press Zool., 59, 125-156.
- 10) Witenberg, G. (1934) : Studies on the cestode genus *Mesocestoides*. Arch. Zool. Ital., 20, 467-509.

### Abstract

ON *MESOCESTOIDES PAUCITESTICULUS* FROM A BADGER:  
*NYCTEREUTEX PROCYONOIDES* COLLECTED  
 IN BEPPU CITY

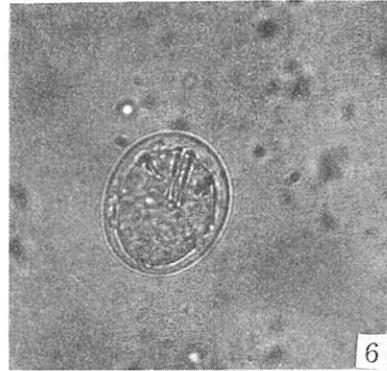
GIITI KUGI

*Beppu City, Oita Prefecture, 874*

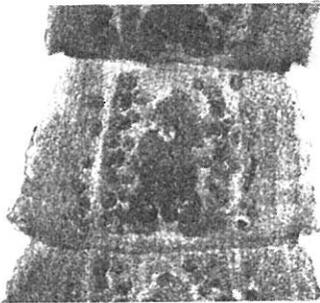
A number of very slender tapeworms were taken from the intestine of a badger from Beppu City on April 4, 1973. The present form agrees in general with the diagnosis of *Mesocestoides* Vaillant, 1863. Being compared with the known species belonging to the genus *Mesocestoides*, the present species was identified with *M. paucitesticulus* described as a new species by Sawada and Kugi (1972) from the characteristics of the length of neck, the number of testis and the size of cirrus pouch. This is the second record of *Mesocestoides* from the Japanese badger.



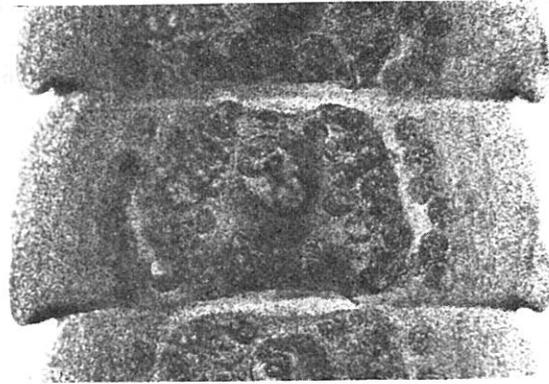
1



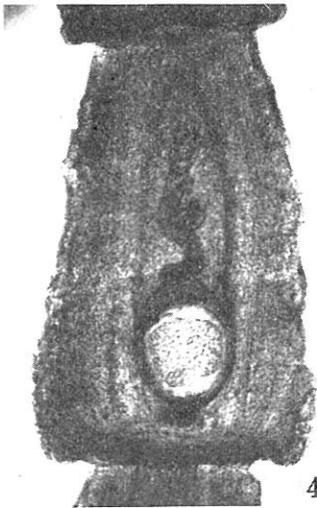
6



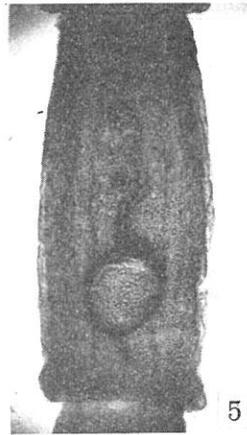
2



3



4



5

1) 頭節 100×      2) 未成熟片節 100×      3) 成熟片節 100×  
 4) 老熟片節 40×      5) 末端片節      6) 虫卵 400×